

奨学生募集要項（2024年度）

No. 490

直接応募（C区分）

奨学団体名 (奨学金名称)	霞山会【2025年度予約採用】		
2024 募集人数	全国で最大5名		
募集学年	博士（博士後期）課程 修士（博士前期）課程 ※2025年4月時点		
募集学部・研究科 研究分野等	近現代中国または台湾に関する政治、経済、歴史、教育・文化の各分野を専攻する者		
財団締切時期	2025年1月15日（水）		
給付	月額 100,000円	貸与	無
授業料相当額支給	無		
(採用時)一時金	無		
併給	不可	年齢制限	修士課程在籍者…30歳未満 博士課程在籍者…40歳未満 ※応募時時点
就労制限	—	出身地制限	日本国籍を有する者
その他応募条件	・将来、大学あるいは研究機関において研究職を希望する者 ・給与所得者でない者 ・応募にあたっては、小論文「現在の研究テーマ選択自由とその展望（2,000~2,400字）を要提出		



一般財団法人
霞山会
THE KAZANKAI FOUNDATION

(財) 霞山会 2025年度 大学院生対象奨学金 (給付型) 募集要項

1. 募集人員 最大5名
2. 応募資格
 - 1) 日本国籍を有する者
 - 2) 日本の大学院(修士・博士課程)に在籍(2025年4月入学予定も含む)し、次項の各分野を専攻する者(研究生・ポスドクは応募不可)
 - 3) 近現代中国または台湾に関する政治、経済、歴史、教育・文化の各分野を専攻する者
 - 4) 応募時に下記の年齢の者
 - ①修士課程在籍(2025年4月入学予定も含む)者…30歳未満
 - ②博士課程在籍()者…40歳未満
 - 5) 給与所得者ではない者
 - 6) 将来、大学あるいは研究機関において研究職を希望する者
 - 7) 成績優秀で心身ともに健康な者
3. 奨学金支給対象期間
 - 1) 修士課程在籍者 支給開始から2年間
 - 2) 博士課程在籍者 支給開始から3年間
 - 3) その他
 - ①具体的支給期間は上記対象期間に基づき当会が定める
 - ②支給開始月は、入学時期に関係なく4月とする

4. 奨学金の支給停止（奨学生資格の消失）と支給の一時停止について

1) 奨学金の支給停止（奨学生資格の消失）

①入試不合格、卒業（修了）、退学、留年、停学、休学、海外留学【※】

【※】海外に渡航し、受入大学にて研究・生活するもの（リモート留学は含まない）

②成績の著しい悪化

③申請時と専攻を変更し、かつ、その専攻が奨学金支給の対象としてふさわしくないと当会が判断した場合

④奨学生としての義務事項（後述）等に対する履行違反、あるいは正当な理由なく度重なる提出物（後述）の期限遅延等が認められた場合

⑤その他、当会の奨学生としてふさわしくないと当会が判断した場合

⑥奨学金支給停止（奨学生資格消失）適用者の当該奨学金事業再応募は認めない

2) 奨学金の支給一時停止

①正当な理由なく当会への提出物等（後述）の期限遅延が生じた場合

②その他、当会が一時停止をすべきと判断した場合

③一時停止事由消滅後の支給再開の可否については当会が判断し、当会が再開妥当と判断した月分から支給を再開する

3) その他

当該奨学金申請時を含め、当会に対する虚偽の申告、あるいは詐称と受け取れる事象等が認められた場合、奨学金の返還を求めることがある。さらに、その程度が悪質であると当会が判断した場合、法的措置をとることがある。

5. 奨学金 10万円／月

1) 奨学生に指定された日本の銀行に毎月末振り込む

※当会システム等の都合上、指定された全ての銀行に対応できるとは限らない

2) 本奨学金は給付型（返済不要）

6. 応募書類及び提出先

1) 申込書（添付の定型フォームに**自筆すること**）

2) 研究計画書及び研究業績（添付の定型フォーム以外の使用も可）

3) 在学証明書

4) 成績証明書（大学入学以降のもの）

5) 小論文『**現在の研究テーマ選択理由とその展望**』

※下記①②のどちらかの形式で提出のこと

①手書の場合：A4版横書、400字詰原稿用紙 5～6枚（鉛筆書不可）

②PCの場合：A4版横書、2000～2400字程度

6) 推薦状 1通（形式は自由）

①指導教授、または同准教授によるもの

②宛先は「霞山会研究奨学金選考委員会」とする

③推薦状は封緘すること（開封したものは無効とする）

7) 上記応募書類を下記に提出すること（郵送・持込みいずれも可）

<p>〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-47 赤坂霞山ビル (財)霞山会 研究奨学金係</p>
--

7. 応募締切 **2025年1月15日（水）必着**

※持込の場合、土日祝を除く10:00~15:00のみとする

※休日や深夜等、当会の職員不在時に郵便受け等に直接投函、あるいは置き配された場合、書類の紛失等発生の可能性はある

※上記の事態が発生した場合、当会は一切責任を負わない

8. 選考時期

1) 2月 書類選考（選考結果通知、合格者には最終選考案内）

2) 3月 最終選考（当会に来会の上受験〔交通費等自己負担〕）・最終合否通知

9. 義務事項

1) 選考試験合格後、承諾書&誓約書（当会作成）に署名・捺印のうえ当会に提出

2) 奨学生レポートの提出（当会定型フォーム）

奨学金受給期間中における研究の進捗状況等（毎四半期） 1600字／回程度

3) 成績表の提出（各年度）

4) 成果報告の提出（各年度）

年度中に大学・研究機関へ提出あるいは発表した論文等（履修科目のレポートでも可）の抜刷、あるいはそのコピー

5) 同窓会（後述）機関誌『News Letter』へのエッセイ寄稿（受給期間中1度のみ）

6) 各種告知（回答）義務

①本奨学金は併給不可のため、他の奨学金を利用する場合は、当会へ速やかに「辞退届」を提出すること（フォームは自由）

②海外留学、専攻の変更等、奨学金受給要件に影響を及ぼす案件が発生した場合、当会へ速やかに報告すること

③その他、当会からの質問事項等に対し速やかに回答（対応）すること

10. 留意事項

1) 当該選考に係る諸資料（過去問等）の公開は一切しない

2) 本選考の可否に係る理由等の問い合わせには一切応じない

3) 応募書類は返却しない

4) 本奨学金は併給不可とするが、奨学生が謝金を伴う原稿執筆等を受託した場合、これを妨げない

- 5) 不可抗力事態（天災・感染症等）の発生状況により、本奨学生選考に係る全ての作業を変更・中止することがある
- 6) 奨学金受給期間満了者は、同窓会^{【※】}に自動入会となる
【※】 当会の奨学金を利用したOBで構成（入会金・会費・義務事項等一切なし）
- 7) 奨学生特典（出欠は自由）
 - ① 当会主催の講演会、日本国内で開催の各種シンポジウムの案内
 - ② 訪日団等、海外からの来客との会食の案内
 - ③ その他、当会の奨学金事業に係る各種懇談会等の案内

1 1. 当会の責任について

当会の都合による奨学金支給内容の変更または中止についてのみ責任を負い、それ以外の奨学生本人が受ける不利益については一切責任を負わない。

1 2. 問い合わせ先

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-47 赤坂霞山ビル
一般財団法人 霞山会 文化事業部
電話：03-5575-6301
FAX：03-5575-6306
担当：千葉（kenjyo@kazankai.org）

個人情報の取り扱いについて

- ・お預かりした個人情報は法令に従って厳正に管理します。
- ・応募書類にご記入いただいた内容は、当会事業に係る案内、連絡及び送付のみに使用します。

以上

<参考>

一般財団法人 霞山会 ホームページ

URL : <https://www.kazankai.org/>

(財) 霞山会 日本人大学院生向け奨学金申込書

受理日 : 年 月 日

フリガナ	姓)	名)	受験番号
氏名			
生年月日	西暦	年 月 日 (満 歳)	写真貼付欄 ①上半身脱帽・最近 3カ月以内のもの ②スナップ写真不可 ③写真裏面に氏名を 記入のこと
現所属機関・職名 (学校名・専攻) ※課程・学年も記入			
現所属機関 所在地 <input type="checkbox"/>	〒 電話 :		
所属予定機関 (学校名・専攻)			
連絡先住所 <input type="checkbox"/>	〒 電話 : e-mail :		
上記以外の 連絡先 <input type="checkbox"/>	〒 電話 : e-mail :		

※審査結果等の希望通知先のにレ点を記入のこと

現在の研究 テーマ	
現在の 研究指導者	氏名 所属 (職名)
推薦状 記入者	氏名 所属 (職名)

ご記入いただいた内容は、当会事業に係るご案内、ご連絡及びご送付のみに使用させていただきます。お預かりした個人情報、法令及び当会規則にしたがって厳正に管理いたします。(日院1)

所属予定 機関での 研究テーマ	
予定 研究指導者	氏名 所属（職名）

※すでに大学院に在籍し、現在の研究テーマ等と同じ場合は記載不要

年（西暦）	月	学・職歴（学歴は高卒以上、大学は学部・学科まで記入のこと）

海外留学経験（リモートは含まない）：直近のものから記入		
留学開始年月（西暦）	留学期間	留 学 先
年 月	年 カ月	
年 月	年 カ月	
年 月	年 カ月	

現在受給している奨学金の有無	有 ・ 無
〃 のタイプ	給付型 ・ 貸与型
今回、併願している奨学金の有無	有 ・ 無
〃 のタイプ	給付型 ・ 貸与型

※該当するものを○で囲むこと

以上の通り相違ありません。

年 月 日

署名

印

(日院2)

